

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	235	学校名	仙台市立人來田中学校	校長名	鈴木 裕太
------	-----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ

「環境にやさしい生活をするために、できることから始めよう」



2 取組の紹介

○節電と節水、エネルギー消費量カット

移動教室等で教室を使用しない時には、消灯を行うことで節電に努めています。また、エアコン使用期間中には、移動教室の時はドアを閉めて、エアコンのガス消費量を抑え、二酸化炭素の排出量を減らすようにしています。さらに、手洗い場に節水を呼び掛ける掲示物を掲示し、こまめに水道を止めるように促しています。



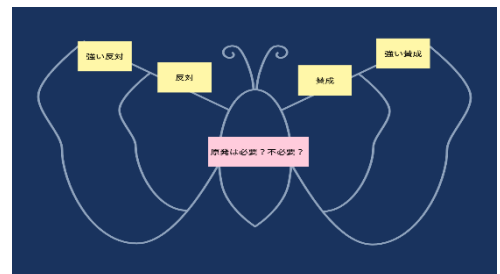
○古紙やゴミの分別と回収

各教室と職員室に、もえるゴミ用のゴミ箱とプラスチック用のゴミ箱を設置しています。色やマークを変えて分かりやすく表示することで、普段からゴミを分別する習慣を身に付けるようにしています。また、古紙回収ボックスを印刷室や職員室に設置し、職員も分別を心掛けています。片面印刷の紙を再利用するなど、リサイクルにも取り組んでいます。



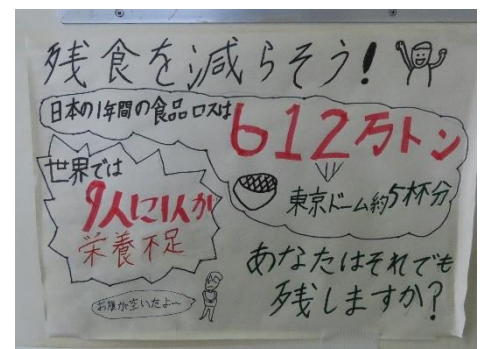
○エネルギー問題について考える取組

中学2年社会科、地理的分野で学習する、「日本の資源・エネルギーと電力」の中で、原子力発電所は必要か必要ではないかについて考える取り組みを行いました。ロイロノートのバタフライチャートを活用し、地球温暖化やエネルギーの消費量と関連付けながら、今後の日本のエネルギー問題の未来について考える取組を行いました。



○給食残食のゼロを目指す取組

給食委員会を中心に、給食の残食量を減らすために学級での呼び掛けや掲示物の作成を行っています。食料不足による影響が世界にはどのくらいあるのかを伝え、給食の残食を減らしていく呼び掛けを行いました。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

日頃から節電や節水に努め、配膳された給食は残さず食べて残食を出さないようにするなど、日常生活の中で環境のことを考えて行動しようとする生徒が増えてきました。また、昨年度に引き続き各地区で地区清掃を複数回実施することができ、積極的に清掃に参加する生徒も多くいました。教科指導においても、エネルギー問題について考える取組を行ったことで、自分たちが住んでいる地域の環境や、今後の日本全体の環境をより良くしようとする意欲を感じることができました。

今後も地球環境や身の回りの環境についての理解を深め、環境に良い影響を与える行動を学校全体で共有し、環境活動に取り組んでいきたいと思っています。